

学校法人 稲置学園 金沢星稜大学

石川県金沢市

贈呈理由

増築に伴い、ピーク電力削減と環境と省エネに配慮し、 **蓄熱式空調システムを採用**



学校法人稲置学園は、1932年、創設 者である稲置繁男初代理事長が「学校 は人をつくるところである」という信念 を携えて、石川県金沢市彦三の地に北 陸明正(めいせい)珠算簿記専修学校を 開校したことがその始まりである。現在、 金沢星稜大学をはじめとして女子短期 大学部、高等学校、中学校、附属幼稚 園2園を運営している。

建学の精神「誠実にして社会に役立つ 人間の育成」を教育の中心に据えて「星 稜 | の人間教育を実践し、北陸を中心と する地域社会へおよそ57,000人の卒業 生を送り出している。中にはプロスポー ツで世界的に活躍中の選手もいる。

記念事業で整備した新校舎に、 高効率ヒートポンプ機器を採用

2012年に創立80周年記念事業として、 教育環境のさらなる充実および地域社会 との連携強化を目指して校舎の整備を計 画、大学の新しい校舎・施設としてキャ リアデザイン館とメディアライブラリーを 新築した。さらに女子短期大学部をその 中へ移転させることも行われた。

これら新築建物の空調にはすべて高効 率ヒートポンプ機器が採用された。

80 周年は、100 周年に向けた ファーストステップ

学園の新たな顔として知性を発信す るメディアライブラリーには、昼間の 電力ピークの抑制と環境・省エネに配 慮した蓄熱式空調システムを導入した。 本格的な稼働を迎える今年は、このシ ステムにより昼間電力の抑制と割安な 夜間蓄熱で、経済性でも期待されてい

今後リニューアルを迎える既存の建 物の空調設備に関しても、高効率で経 済性に優れた設備への更新を検討して いく予定だ。

同学園では80周年を、これまでを振 り返るのみならず、未来へのスタート地 点として、星稜の「人間教育」のさらな る進化を目指す新たな「100周年への最 初の一歩」としている。



メディアライブラリー室内



エコ・アイス

金沢星稜大学 メディアライブラリー

所在地:石川県金沢市御所丑10-1 建築設計:㈱浦建築研究所 建築施工:清水·淺沼·間JV 蓄熱設備設計:㈱浦建築研究所 蓄熱設備施工:㈱柿本商会 延床面積:3,163.45㎡ 竣工年:2012年(新設)

蓄勢設備概要

エコ・アイス(個別分散) 20馬力相当×2台 蓄熱槽: 2.02㎡/14馬力相当×6台 蓄熱槽:8.94㎡ (日立ア プライアンス]